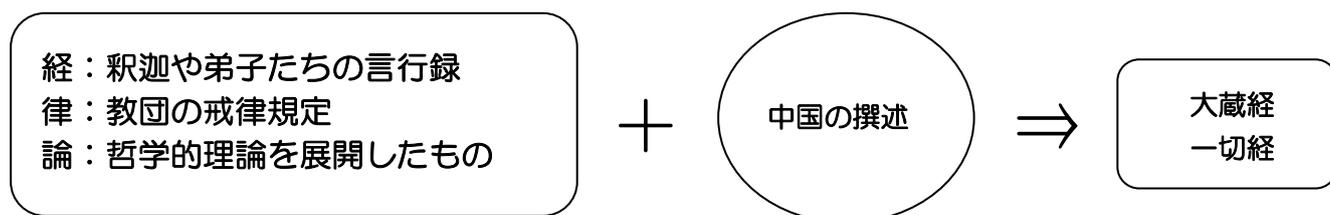


大蔵経・一切経の調べ方

経律論の三蔵と中国の撰述を加えた仏教の基本的な叢書を「大蔵経」または「一切経」といいます。前者が中国の随時代以降の呼称に対して、後者は中国の南北朝時代から使用されています。大部の大蔵経の中から 1 つの経典を探し出すのはなかなか大変です。

それでは、大蔵経の調べ方をみていきましょう。



1. 府立図書館の所蔵する主な大蔵経・一切経

- 『大正新脩大蔵経』 100 巻（大正一切経刊行会 1924-1934） 【134/220/#】 中之島
 正篇（漢訳の経律論・中国撰述の仏典）55 巻、続篇（日本撰述の仏典）30 巻と図像 12 巻、総
 目録 3 巻から成る。漢訳経典および漢文で著された仏教典籍の集大成でもある。（漢訳）
 『大正新脩大蔵経図像』のみ中央所蔵（大正新脩大蔵経刊行会）（1977-1989）【134/1271/#】
- 『大日本統蔵経』（1905-1912） 【134/4/#】 中之島
 『大日本校訂訓点大蔵経』（いわゆる「卍字蔵」）の続編。『大正新脩大蔵経』に収録されなかった
 中国撰述書も収録されている。目録は『大日本統蔵経目録』【134/4/#】がある。（漢訳）
 ＊ 『大日本校訂訓点大蔵経』：1902-1905 年に京都蔵経書院より刊行された漢訳大蔵経。
- 『新纂大日本統蔵経』 第 90 巻（国書刊行会 1975-1989） 【183/75N】 中央
 第 89 巻が目録部、第 90 巻 が索引部。（漢訳）
- 『日本大蔵経』 48 巻（日本大蔵経編纂会 1914-1921） 【134/3/#】 中央
 完全な大蔵経ではなく、漢訳大蔵経の中の重要な経律論を取り出す。経律論の注釈書のほか、日
 本撰述の仏典 753 部を収録する。
- 『国訳大蔵経』（国民文庫刊行会 1917-1928）【134/218/#】【134/15/#】 中之島【183/K1/1】 中央
 日本語訳の大蔵経。現代語訳ではない。
 『新国訳大蔵経』（大蔵出版 1993-刊行中） 【183/15N】 中之島

■『国訳一切経』（大東出版社 1928-1944） 【134/433/#】中之島
改訂（大東出版社 1979-1991） 【183/9N】中央
「印度撰出部」（155巻）と「和漢撰出部」（100巻）からなる。現代語訳ではなく、書き下し文。

■『南伝大蔵経』（65巻 大蔵出版） 【134/571/#】中央
スリランカ、東南アジアに伝承する仏典を1935（昭和10）年から1941（昭和63）年までに日本語に完訳したもの。現代語訳ではなく、書き下し文。上座部仏教を知るうえで貴重な仏典資料。

お経によっては現代語訳されているものもあります。
《現代語に訳されているものを当館蔵書検索で探すには》

[その1]

（見たい経典が決まっている場合）
書名欄に「現代語」、もしくは「和訳」と入力します。続いて下の検索項目も書名に変更し「経典名」を入力します。書名と書名は「かつ（AND条件）」に設定します。

[その1]

書名	現代語	この言葉を含む	かつ(AND条件)
書名	法華経	この言葉を含む	かつ(AND条件)
書名		この言葉を含む	かつ(AND条件)
著者名		この言葉を含む	かつ(AND条件)
出版者		この言葉を含む	かつ(AND条件)
件名	分類参照	この言葉で始まる	
内容注記			
全項目			

[その2]

書名欄に「現代語」もしくは「和訳」と入力し、分類の欄に「18」（18は仏教の分類番号）を入力し検索してみてください。

[その2]

書名	現代語	この言葉を含む	
書名		この言葉を含む	
出版者		この言葉を含む	
件名		この言葉を含む	
分類	分類参照 18	この言葉で始まる	

現代語訳されているお経を一部ご紹介いたします。

『法華経：梵漢和对照・現代語訳』上下巻（植木雅俊/訳 岩波書店 2008.3） 【183.3/85N】中央

『般若心経：現代語訳』（ちくま新書 玄侑宗久/著 筑摩書房 2006.9） 【L71/615N】中央

『現代語訳大乘仏典』（中村元/著 東京書籍 2003.2） 【183/55N】

- 1 般若経典 2 法華経 3 維摩経 勝鬘経 4 浄土経典 5 華嚴経 楞伽経
- 6 密教経典・他

2. 仏典を調べる本

目録・索引を使って探すお経がどこに収録されているか調べます。

■『日本仏教全集叢書資料総覧』全3巻（本の友社 1986.12） 【180.3/21N】

明治以降に刊行された仏教全集・叢書に収録されている仏典類を網羅的に目録化したもの。経典以外の目次も収録されている。（例えば、『石山本願寺日記』など）

「総目次篇」2冊は50音順に全集・叢書を配して、その目次を一覧することができる。この中に『国訳一切経』などを収めている。「総索引編」で仏典名の部首、画数順に配列されているので、書名のヨミが分からなくても調べることができる。

■『大蔵経全解説大事典』(雄山閣 1998.8) 【183/31N】

『大正新脩大蔵経』に収められた全典籍を収録順に並べ、成立、内容関連する典籍、参考文献等を記す。巻末に50音順の索引を載せる。ここから見たい典籍が『大正新脩大蔵経』のどこに収められているかを調べることができる。

●web 大正新脩大蔵経テキストデータベース 東京大学大学院社会系研究科

<http://21dzk.l.u-tokyo.ac.jp/SAT/>

『大正新脩大蔵経』の第1巻から第85巻までをデータベース化したもの。全文検索が可能。

■『一切経解題辞典』(大東出版社 2002.3) 【183/51N】

『国訳一切経』に収録する仏教典籍に主要仏典を追加した書目の解説。典籍の50音順に並べられている。画数から引く漢字索引があるので、ヨミが分からなくても調べることができる。『大正新脩大蔵経』等の大蔵経・一切経のどこに収められているかも記してある。注釈書が付されており、その仏典に関する調査の手掛かりとなる。

■『総合仏教大辞典』全3巻(法蔵館 1987.11) 【180.3/22】

第3巻に別冊として、仏教主要叢書目録および総索引(冠字画引・和文索引・欧文索引)を収録。画数からも引けるので、ヨミが分からなくても調べることができる。『大正新脩大蔵経』等の大蔵経・一切経のどこに収められているかも記してある。

■『佛書解説大辞典』全15巻(大東出版社、1933年初版、1965-78年改訂増補版) 【180.3/12】

仏教典籍約9万点を解説。書名、略名、巻数、存欠、著者名、訳者、内容解説、参考図書、所蔵館等が記載されている。

初版は1933年。1978年に出版された12・13巻は初版以後に公刊された仏教書の解説を増補している。

■『仏典解題事典』(春秋社 1987) 【183/10】

インド・チベット・中国・日本の重要な経典・論書等について、典拠や内容解説・参考書・テキスト等を紹介している。

3. どのようにして調べるか？

Q.華嚴経が全文載った資料が見たい。

A.『日本仏教全集叢書資料総覧 総索引篇』で調べる。

「華嚴経」の箇所を見ると、「大方広仏華嚴経」の項目を見よ、とあるので、

「大方広仏華嚴経」の項目を見ると、

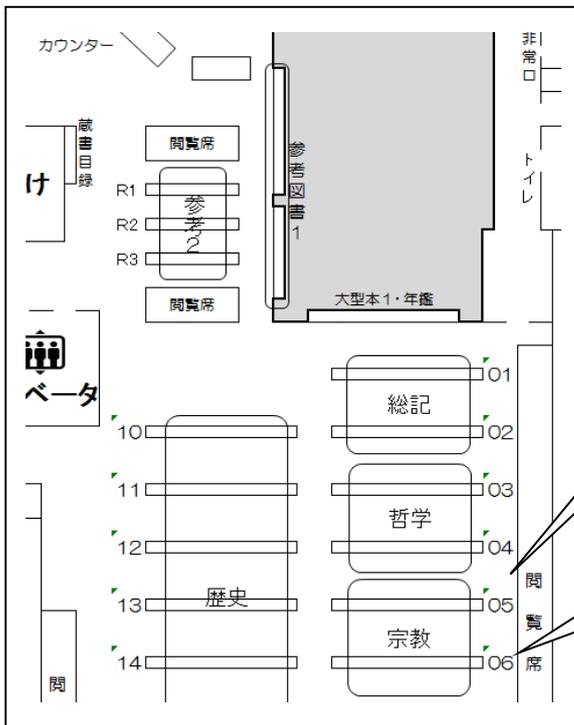
①『国訳一切経 印度撰述部 華嚴経 1-4』、②『大正新脩大蔵経 巻9・10』と出てきます。

①は書き下し文で読むことができます。

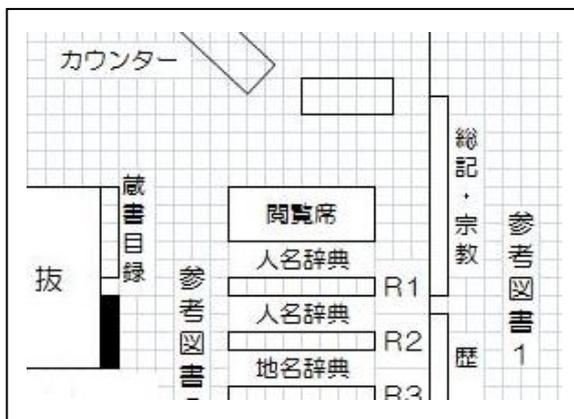
②は漢文で和装書の資料です。中之島図書館の所蔵となります。

4. 仏典に関する本の場所

般若心経や法華経などの経典に関する資料は、4階のNDC183（05Bと06Aの本棚）に並んでいます。



- 183.1 阿含部 阿含経、玉耶経、六方礼経など
- 183.2 般若部 金剛経、心経、大般若経、仁王経
- 183.3 法華部 観音経、観普賢経、法華経、無量寿経など
- 183.4 華嚴部 華嚴経
- 183.5 宝積部 阿弥陀経、観無量寿経、宝積経、無量寿経
- 183.6 経集部 円覚経、金光明経、維摩経など
- 183.7 秘密部 金光頂経、大日経など
- 183.8 律部
- 183.9 論部



本棚 参考図書1
仏典を調べる本

(参考資料)

『岩波仏教辞典 第二版』(岩波書店 2002年)

『一切経解題辞典』(大東出版社 2002年)

『世界大百科事典』(平凡社 2007年)

国立国会図書館 調べ方案内 大蔵経(一切経)

http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-101024.php

国立国会図書館 調べ方案内 大蔵経(一切経)の日本語訳

http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/post-167.php

神奈川県立図書館 仏教資料・情報の探し方

<http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/yokohama/materials/navi006.htm>